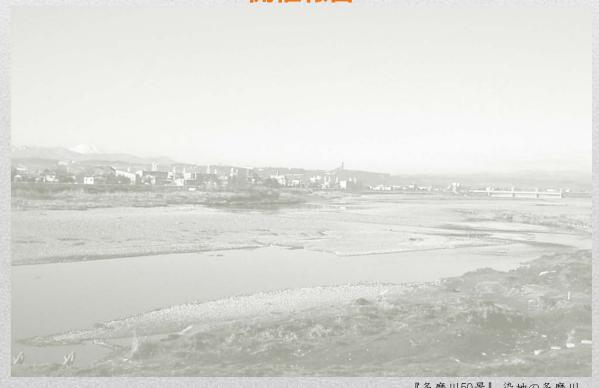
第6回多摩川流域歴史セミナー

# 『調布玉川惣画図に見る多摩川の名所』

~午前の部:八王子の歴史を巡るウォーキング~

# -開催報告-



『多摩川50景』 染地の多摩川

平成30年1月28日(日) 多摩川流域懇談会

# 第6回多摩川流域歴史セミナー

# 『八王子の歴史を巡るウォーキング』 開催報告(午前の部)

## 1 概要

●日 時:2018年1月28日(日)9:30~12:15

● 場 所:西八王子駅~八王子市郷土資料館(八王子市)

● 主 催:多摩川流域懇談会

● 協 力:八王子市教育委員会

● 参加者:計69名(一般参加者47名・スタッフ22名)

# プログラム

● プログラムの概要は表 1 に示す通りです。

#### 表 1 「第6回多摩川流域歴史セミナー」プログラム

項目	説明者	場所
開会挨拶	神谷 博 氏(多摩川流域懇談会運営委員長)	西八王子駅前
南浅川に関する説明	飯島 氏(東京都建設局) 齋藤 氏(同上)	南浅川
見学スポットの説明	1班: 金子 花史 氏 (八王子市教育委員会) 2班: 鈴木 泰 氏 (浅川流域市民フォーラム)	各見学スポット
閉会挨拶	物澤 副所長(京浜河川事務所)	八王子市郷土資料館

## 3 現地見学

当日は、2 班に分かれて西八王子駅をスタートし、 芸術院、南浅川、千人同心屋敷跡記念碑、産千代稲荷 神社、信松院などの見学スポットを巡りました。

見学スポットでは、八王子市教育委員会の方から丁寧な解説があり、参加者からは「なるほど!」と感心の声があがりました。

途中の産千代稲荷神社では、神主さん自ら解説をしていただく場面があり、大久保長安の功績などについて非常に分かりやすく教えていただきました。

当日は雪が残っており、寒さが身にしみる気温でしたが、寒さをものともせず熱心に解説を聞く参加者の皆様のおかげで、無事に八王子の歴史を巡ることが出来ました。



見どころが掲載されたしおり



見学ルート

#### 3.1 集合

- 9時30分に西八王子駅に集合しました。
- 京浜河川事務所の髙橋課長より、現地見学にあたっての注意事項やルートマップの説明 がありました。



注意事項の説明

#### 3.2 開会挨拶



開会挨拶をする神谷氏

#### 神谷 博氏(多摩川流域懇談会運営委員長)

- 多摩川流域歴史セミナーの主催者である「流 域懇談会」についての説明がありました。
- 当日のプログラムについての説明も行われました。

#### 3.3 南浅川に関する説明

#### 齋藤氏・飯島氏(東京都建設局)

東京都建設局の齋藤氏・飯島氏より、南浅川の整備などについて、展示パネルを用いた解説がありました。また、各班のガイドからも補足説明がありました。

#### 【南浅川の整備に関して】

- 南浅川は、全長 8.1km の多摩川水系の一級河川です。
- 昔はすぐ溢れるような浅い川でしたが、大正天皇の多摩稜を整備した時に、川底を 掘り下げて、堤防を高くしました。
- 南浅川の最下流部の河川敷は、昭和 40 年頃からダンプカー等に不法占拠され、 50mm/hr 計画流量に対する改修工事が実施できないでいる状況でした。
- そのような状況の中、平成 20 年 8 月に南浅川最下流部の左岸から洪水が溢れたことをきっかけに、不法占用者との調整を再開し、防災工事の事業化に至りました。
- 最下流部には高さ約 4mの堰があり、堰の上流部には土砂が堆積し、瀬切れが生じ、 魚類等の生物の生息環境の連続性が喪失していました。
- そこで河道断面を確保するため、落差 4mあった堰を 2mにし、新たに上流部に落差 2mの堰を設け、その間の河床掘削を行いました。
- 堰には魚類が遡上できるようにハーフコーン型の魚道を整備しました。
- その結果、魚道設置後 6 日間で 88 匹のアユの遡上が確認され、その他にも多くの魚類が見られるようになりました。また、魚類が増えた結果、サギやカワセミなどの鳥類が飛来する環境となりました。

#### 【江戸時代の南浅川の治水】

- 河川の左岸側は低く、右岸側は高くなっています。これは当時、左岸側が農地であり、遊水地としての役割を果たしていたためです。
- 浅川と南浅川の合流点をみると、直角にぶつかっているのが確認できます。南浅川が等高線沿いに流れていることからして、わざと直角にぶつかるように人為的に流れを変えたことがわかります。
- 浅川と南浅川をわざと直角にぶつけることで、互いの流速を相殺するようにさせ、 浅川の流速が遅くなるように治水を行ったと考えられます。
- 南浅川と浅川が直角に合流する形は江戸時代から現在までほとんど変わっていません。

#### 【南浅川に関する昔話】

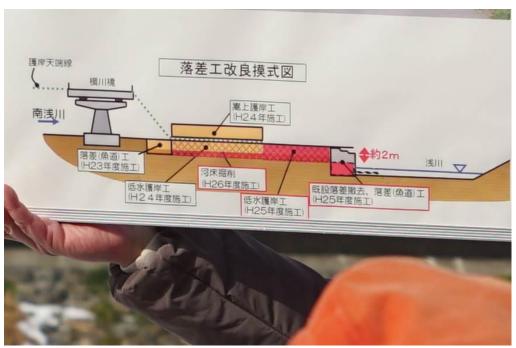
● 南浅川には弘法大師にまつわる、以下のような伝説が残っています。 旅のみすぼらしいお坊さんが川を通りかかった際、喉が渇いたので、川のほとりにある一軒の茅屋に立ち寄り水が欲しいと頼みました。しかし、この家の老婆は、お坊さんを一瞥すると、あげる水はないと冷たく断りました。すると、お坊さんは悲しそうなお顔をされて、川のほとりでなにかつぶやいて立ち去りました。いままで滔々と流れていた浅川の水はこのときから枯れ、ついに水無河川になってしまいました。



解説していただいた齋藤氏と飯島氏



南浅川



落差工改良模式図

#### 3.4 見学スポットの説明



1班 金子氏(八王子市教育委員会)

2班 鈴木氏(浅川流域市民フォーラム)

移動の途中には、しおりに掲載されているものを中心として、以下のような地形や自然環境、 歴史に関する説明が各班のガイドさんからありました。

## 【完格院】



宗格院は、文禄 2 年に价州良天により草創した寺院で、八王子千人同心にゆかりのあるお寺です。

宗格院には、大久保長安が浅川の洪水を防ぐために作ったとされる石見土手(市史跡)があります。石見土手は、積み方が八王子城の積み方と似ており、八王子城の落城後5年間(天正 18年~文禄2年)の間に作られたのではないかと考えられるそうです。石見土手には浅川の石が使われているそうです。

# 【元本郷浄水所】



元本郷浄水所は、昭和3年に竣工した市内最初の浄水施設で、現在は東京都水道局になっています。

浄水所から高台である散田配水場(通称・水道山)まで、道路下にパイプを通し、ポンプで水を送っています。さらに散田配水場からは自然流下で水を送っているそうです。

### せんにんどうしんやしきあときねん ひ【千人同心屋敷跡記念碑】





八王子千人同心は、元武田家の家臣団が徳川家康に召抱えられ、江戸幕府の家臣団となったものです。千人頭 10人と、頭1人につき 100人の部下がいたので、千人同心と呼ばれました。普段は百姓を営み、公務があるときは侍として活躍していました。同心たちの主な役目は、日光東照宮の火の番だったそうです。その他にも北海道の勇払や白糠の開拓事業にも取り組みました。西八王子駅周辺(現在の千人町周辺)は千人同心の頭の屋敷が多くあったとされ、地元では車止めポールや案内標識等に八王子千人同心の陣笠をイメージしたデザインが施されていました。

### 「産ー代稲荷神社】





産千代稲荷神社は、江戸時代のはじめに大久保長安の陣屋があった場所とされていますが、江戸時代中頃には土塁も取り壊され、最終的には神社のある場所のみが残ったとされます。神社は大久保長安の陣屋内の鬼門除の守護神として創立されました。「産千代」は産業の発展が続くようにとの願いが込められており、「稲荷」は農業の神様であったことから、米や蚕などが栄えていた八王子では各地で祀られていたそうです。

境内には陣屋時代の跡である 400 年前の古井戸が残っており、現在でもポンプで汲み上げて使用されています。

敷地内には大久保長安記念館があり、セミナー当日は、記念館の中で大久保長安にまつわる話を神主さんからお聞きしました。大久保長安は八王子の街づくりに大いに貢献した人物であり、現在でも長安の街づくりの跡が残っています。また、佐渡や石見鉱山の開発にも尽力した人物でもあり、鉱山開発で成功を収めたことも有名だそうです。

### 【信松院】





信松院は、武田家の四女である松姫にゆかりのある寺院です。武田家が滅ばされた際、松姫は幼い姓ら3人を連れて武蔵国多摩郡恩方材(現在の八王子)へ逃げてきたとされます。当時、武田家が新府城を出たときは200人の女性がいたとされますが、その中で生き残ったのは松姫だけだったと言います。

八王子へ落ちのびた後、松姫は信松 尼と号することになり、上野原(現在の上野町周辺)に庵を結びました。これが現在の信松院だそうです。

信松院の中には松姫ゆかりの品が多くあり、松姫尼公墓(市史跡)や木造松姫坐像(市有形文化財)、木製軍船ひな形(都有形文化財)があります。特に、木製軍船ひな形については、松姫百回忌に際し、松姫の兄(仁科盛信)の末裔から寄贈されたもので、小早川隆景の軍が朝鮮に攻めていった時に使用した軍船の模型とされます。

## 【八王子市郷土資料館】



八王子市郷土資料館は、八王子市内出土の考古資料や市内で使われていた民俗資料などを調査・研究・収集・展示し、郷土の歴史を知る場として、多くの人に利用されており、2017年で開館50周年を迎えたそうです。

資料館には子ども向けの解説シートなどもあり、 分かりやすく八王子の歴史が学べるようになっ ています。

#### 【その他】

- ・ 八王子の町割りは大久保長安が作った昔のままになっており、間口が狭くて、奥行きが長いのが八 王子宿の特徴だそうです。
- 現在の八王子周辺は、もともとは横山など別の地名で呼ばれていましたが、八王子城の築城等の影響を受け、八王子と呼ばれるようになり、そのまま定着していったそうです。

#### 3.5 質疑応答等

見学時に参加者から出された質問や感想について一部を抜粋してご紹介します。

#### 【質疑応答】

Q:産千代稲荷神社に古くからある井戸の中には、現在水はどのくらいあるのですか?

A: 水深 1~2m程度はあります。

Q:大久保長安には鉱山開発の素質が元からあったのですか?

A:素質もありながら、鉱山開発によって得られた金や銀との物々交換により外国から の技術を取り入れたことで成功したと考えられます。

#### 【感想・意見】

- ・南浅川の浅川分岐点近くの改修工事の目的と結果について初めて知りました。近くの 住人ですが、知らなくておもしろかったです。
- ・松姫自体は知っていましたが、どこに松姫のお寺があるかなどは知りませんでした。 大変勉強になりました。
- ・河口から青梅辺りまで徒歩で巡る(何回かに分けて)企画を検討して下さい。実際に川 を見る体験を通して色々なアイデアが出ると思います。
- ・流域が長く、知らない所が多いのを実感しています。
- ・初めて参加しました。これからも参加したいと思いました。
- ・とても良い企画でした。また次回も参加したいと思っています。

貴重なご意見をありがとうございます。今後の運営や川づくりの参考にさせていただきます。

#### 3.6 解散



閉会の挨拶の様子

### 羽澤副所長(京浜河川事務所)

- 最後の見学スポットである八王子郷土資料館で各班 解散となりました。
- 羽澤副所長(京浜河川事務所)より、今回の「多摩川流域歴史セミナー」の意義が説明されるとともに、歴史セミナーを通して自身も大変勉強になったとの挨拶がありました。

以上